

第32期町田市文化財保護審議会第1回会議 会議録

1. 開催日時：2023年8月7日（月） 午前10時00分～11時00分
2. 開催場所：町田市役所本庁舎10階 10-2会議室
3. 出席者
委員 阿諏訪青美委員、内野秀重委員、須田英一委員、
鶴巻孝雄委員、浜田弘明委員、八木橋伸浩委員
事務局 佐藤生涯学習部長、貴志生涯学習総務課担当課長、杉本係長、
望月係長、後藤主任、松崎主任、金子主任、大塚主事、佐久間
4. 第32期町田市文化財保護審議会委員委嘱書の交付
5. 審議会の会長、副会長の互選
6. 報告事項
 - (1) 町田市指定旧跡「凌霜館跡」の指定について
 - (2) 自由民権資料館企画展「町田のおカイコさん」の実施について
 - (3) 「町田市生涯学習推進計画2019-2023」に基づく2022年度の事業実績について
 - (4) 普及・活用事業について（2023年6月実施分まで）
 - (5) 考古資料の貸出について
7. 今期（2023年6月1日から2025年5月31日まで）の審議会の取り組み予定
8. その他
 - (1) 次回の審議会について（11月上旬開催予定）

- <配布資料> 1 第32期町田市文化財保護審議会委員一覧
2 報告事項
3 「生涯学習推進計画2019-2023」2022年度事業実績報告シート
4 山梨県立考古博物館貸出資料一覧
5 府中市郷土の森博物館貸出資料一覧
- 自由民権資料館企画展「町田のおカイコさん」チラシ
○町田のおカイコさん ガイドブック
○「星降る中部高地の縄文世界」チラシ
○「どんなもんだい？縄文時代」チラシ

■第31期町田市文化財保護審議会委員委嘱書の交付

町田市教育委員会から各委員へ委嘱書を交付した。

■審議会の会長、副会長の互選

会長について、立候補はなく事務局からの推薦で浜田委員に決定した。

副会長について、立候補はなく浜田委員からの推薦で八木橋委員に決定した。

■報告事項（会議資料2）

(1) 町田市指定旧跡「凌霜館跡」の指定について

事務局 資料2を御覧ください。(1)町田市指定旧跡「凌霜館跡」の指定についてです。

こちらは、2023年6月21日に開催された教育委員会定例会におきまして承認され、2023年6月27日に無事告示をすることができました。今後、8月15日号の「広報まちだ」に掲載しまして、市民に広く周知していきます。「広報まちだ」の掲載に先立ちまして、先日、町田市から各報道機関へもファックスによるプレスリリースを実施しました。また、自由民権資料館内では指定書を掲出し、凌霜館跡についてお知らせするコーナーも設置しているところです。

では、続きまして(2)をよろしく申し上げます。

(2) 自由民権資料館企画展「町田のおカイコさん」の実施について

事務局 では、(2)の自由民権資料館企画展「町田のおカイコさん」の実施についての御

説明をさせていただきます。

今回は、町田市立自由民権資料館と、別にあります三輪の森ビジターセンターの中にあります郷土資料展示室で「町田のおカイコさん」展をこの夏休み期間中、7月22日から9月3日まで開催をさせていただいております。町田におけるおカイコさんとの関わりや歴史について、残された記録や養蚕に使われていた道具などを展示させていただいて御紹介をさせていただく展示となっております。

それと併せまして、自由民権資料館の愛称投票の実施をさせていただいております。自由民権資料館では、2021年2月に町田市立自由民権資料館のあり方見直し方針の取組で、愛称をつけるというのを挙げさせていただいております。自由民権資料館なのですが、歴史を紹介する郷土資料館であることを多くの人に知っていただくため、6月に近隣の小中学校などから募った愛称の中から5候補を選ばせていただいて、その中から資料館に5つの候補を張り出ささせていただいて、そこに投票していただくという形で、今、開催期間中、投票をさせていただいております。そして、こちらの開催期間終了後に愛称を決定させていただき、その決定した愛称は2023年11月から使用させていただく予定で動いております。

(3)「町田市生涯学習推進計画2019－2023」に基づく2022年度の事業実績について

事務局 では、続きまして(3)「町田市生涯学習推進計画2019－2023」に基づく2022年度の事業実績について報告させていただきます。

資料3を御覧ください。こちら生涯学習推進計画の取組の中で生涯学習総務課が主な実施主体になっているものを抜粋して添付しております。全部で合わせて10項目ありまして、10項目の中でも目標の指標を設定している件数としては12項目となります。こちらの12項目で、計画以上に目標を達成したものが1件、目標を達成したものが8件、残念ながら目標に達しなかったものが2件、さらに目標を大きく下回った、実施できなかったものが1件となっております。

こちらの中で目標を達成できなかった取組については、具体的には、下にページ数を振っているのですが、4ページ、7ページ、10ページの取組となっております。今回の報告ではこちらを特に取り上げて報告させていただきたいのですが、まず4ページを御覧ください。

取組3-4ということで、文化財の維持・保護・復旧の推進という取組内容となっております。具体的な目標としては、こちらの上のほうの活動指標に書いてありますが、下三輪玉田谷戸横穴墓群復旧整備を掲げておりましたが、こちらも昨年と同様、2022年度も財政上の諸事情から復旧整備が進まなかった状況です。

また、2023年度についても当初予算では予算措置がされていない状況であります。ただ、2019年度に応急処置、具体的には横穴墓内に直射日光が入らないように横穴墓の入り口に板を設置した処置が4年たっております。やはり緊急度はどんどん増しているというのは事務局のほうでもしっかり認識しておりますので、今年度の当初予算では措置できませんでしたが、流用できそうな財源が確保できそうなので、それを使って1度専門の先生に見てもらい、何らかの応急処置が必要であればそれを実施する予定でございます。

また、ちょうど今の時期が来年度の予算要望が始まっている時期ですが、2024年度の予算要望としては保存活用計画の策定委託料、遺構再確認調査と保存処理調査の委託料をしっかりと要望しているところです。

続きまして、7ページを御覧ください。

7ページの取組3-7、講座・講演会事業の充実という項目ですが、概要としましては、歴史について学びたいという市民のニーズに応えられるよう、古文書講座や市民向けのカレッジを実施するほか、特別展・企画展に関連した講演会や講師を招いた講座・講演会を実施しますという内容なんですけど、実は22年度に限らないんですけど、新型コロナウイルス拡大防止の影響でほとんど講座の開設ができなかった要因がございまして、目標を大きく下回ったという形になっております。ただ、その中でも工夫しながらですが、できる講座は開設をしまして、記念講演会とか「町田市史」の資料集の掲載の資料を読み解く特別講座などは実施しております。

これからですが、23年度、今年度もそうですが、なるべく収容人数の多い場所で開催できるような工夫をさせていただいて、たくさんの人に利用していただけたらなという工夫とか、あとはターゲット層を分析して、それに見合った講座の開設を考えていきたいと思っています。

では、10ページを御覧ください。一番最後ですが、取組5-4の歴史・文化資源の調査・研究・保存というところになります。

概要としましては、うちで預らせていただいている史料を学習・研究資源とす

るために保存環境を整えながら、利用者の希望に応え、展示や刊行物に還元できるような目録を作成しますという形になっています。

下を御覧ください。達成状況（指標②）という項ですが、資料目録の作成については、目録を公表する方法を紙の刊行物からインターネット上のデジタルコンテンツとして発表する方法に変更しております。広く活用できるように、紙ベースではなくてデジタルコンテンツで提供できたらという考え方に変更を加えております。とはいえ、重要史料も結構抱えておりますので、そちらの整理を着実に進めていきながら、市民の方々に各種史料を御提供できればと思っております。

会 長 では、ただいまの前半、報告事項3件、指定旧跡の指定についてと、民権資料館の企画展、そして、ただいまの生涯学習推進計画まで説明いただきました。ここまでで御質問、あるいは御意見があればぜひお出しいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

委 員 報告事項の最初のほうに出てきますが、自由民権資料館の愛称が5候補あると。ちなみにどんな愛称が候補に挙がっているのかお伺いできればと思うのですが、いかがでしょうか。

事務局 愛称の候補自体は様々ないただいております、その中から5つを選ばせていただきました。「まちなな」、「まちしり」、「まちれき」、「町レッキ」、あとは「れきあすまちだ」という5項目を挙げさせていただいております。「まちなな」が町田で学べるところということで「まちなな」、「まちしり」は、町田で調べることができる、知ることができるところという意味合いです。「まちれき」というのは、町田の歴史を扱っているところ、「町レッキ」は「町」が漢字でして「レッキ」が片仮名ですけれども、町田の歴史、「レッキ」という形で少しもじったような名前になります。「れきあすまちだ」は、歴史を明日に伝える町田という意味合いで「れきあすまちだ」というのが考えていただいた5項目になります。

委 員 ありがとうございます。かわいらしいものがいろいろあって、なかなかこれは選定が御苦労されるのではという気がします。突出して、これが今すごく人気があるみたいなものはあるんですか。

事務局 今時点のお話になりますが、やはり候補の中から選んでいただいているのは「まちれき」が圧倒的に多くて、「まちれき」は全部平仮名の愛称ですが、半数ぐらいは「まちれき」という形で投票をいただいている状況でございます。

委員 ありがとうございます。

会長 そのほか、何か御質問、御意見はございますか。

私から生涯学習推進計画についてよろしいでしょうか。今回、残念ながら実施できなかったとか、目標に達しないものが幾つかあったわけですが、特に深刻だなど思いましたのは4ページの3-4の文化財の維持・保護・復旧の推進のところですね。そもそも推進計画に提示されていながら予算化されなかったというのは問題が大きいのかなと思っていて、よそでもこういった事例が時々ありますが、こういうものは崩壊や、破壊された後ではもう対処のしようがありませんので、本当に補正予算を組んででも早急に着手していただくべき事項なのかなと思いました。これは個人的な意見です。

それから、3-7についてはコロナ禍で仕方がなかったことなのでどこも同様の傾向かなと思っておりますので、これについては、達成しなかったことの反省はあまり必要ないのではと思っております。

最後の5-4の史料の整理、保存に関してですが、これは課題にも書かれておりますが、「町田市史」は編さんが終わってから50年近くになりますでしょうか。大変な時間経過がありますので、新規の市史編さん事業を進めて、引き続き推進していただけたらと思っておりますので、これはぜひ力を入れて今後も継続してほしいと思いました。

私からの意見ですけれども、以上になります。

事務局 3-4の下三輪玉田谷戸横穴墓群の整備につきましては、やはり1度事業が始まるとなると数千万円規模の事業となりますので、今回はコロナ禍で財政状況が厳しいという背景もございまして着手することはできなかったのですが、確かに東京都唯一の家形彫刻という価値は守っていかなければいけないと思っていますので、先ほど望月から説明もありましたが、できる範囲で少しずつでも何らかの手だてを進めていきたいと考えております。

御指摘いただいた5-4も、やはり市史編さんとなると、お金の話ばかりで恐縮ですが、それなりの事業費にはなります。ただ、民権資料館の日常の業務の中でも市史編さんの準備はできますので、市史編さんに必要な史料の整理は進めていきたいと思っております。御指摘ありがとうございました。

会長 ありがとうございます。

そのほか、委員の皆さんからはいかがでしょうか。特に御意見等はございませんか。

では、ないようでしたら、続きの(4)と(5)の説明をお願いいたします。

(4) 普及・活用事業について（2023年6月実施分まで）

(5) 考古資料の貸出について

事務局 では、資料2の報告事項の1ページ目の最後の部分を御覧ください。(4)普及・活用事業についてです。

2023年度始まってから6月まで実施した分を一覧にして載せています。1ページと2ページ目になります。こちらは、先ほども自由民権資料館の係長の杉本から申し上げましたように、様々な場所で実施するようにはしております、その結果、多くの方に御覧いただき、また、参加していただいている状況です。

こちらについては町田市で実施している事業ですが、続きまして、(5)の考古資料の貸出しについて報告させていただきます。

こちらは、資料4、資料5、あと2枚つけました別添のそれぞれのチラシを御覧いただきたいと思います。

まず、山梨県立考古博物館への貸出しについてです。こちらは、山梨県立考古博物館で開館40周年を記念しまして、特別展「星降る中部高地の縄文世界」というのを7月8日から9月3日まで開催しております。こちらに資料4でつけさせていただきましたが、町田市内の考古資料を貸し出しております。先方の学芸員の話では、6番の忠生遺跡のヒスイがお客様から結構人気だという話を聞いております。また、開始5日間で700人を超える来館者があったということで、かなり盛況ということをお伺っております。

次に、府中市郷土の森博物館への貸出しについてです。こちらは、特別展「どんなもんだい？縄文時代」ということで、7月15日から8月27日まで、ちょうどこちらでもやはり夏休み期間、お子様に見てほしいというところから開催している展示になっております。資料5でつけましたように、町田市からは4点の資料を貸し出しております。こちらは1番の木曾団地遺跡群から出た大きな足の土偶がお客様の目を引いているということをお伺っております。

報告事項については、以上になります。

会 長 ありがとうございます。2件とも考古系の資料についてでしたが、何か御質問、御意見はございますか。

須田委員から何かございますか。

委 員 府中のなすな原遺跡の、これはたしか試掘調査のときに立ち会ってしまして、調査で出土のときを覚えています。石刀でしょうか、何本か集まって出た、朱が塗ってあるものだと思いますが、もう40年ぐらい前の話ですが、そのときの例だと思います。

それから、興味がありましたのは7番、クルミ形、ポスターのほうにもクルミのものがありますが、裏側でしょうか、木曾中学校のほうがより繊細にクルミを模した形で、こちらが出るとよかったかなと思います。ポスターのほうがあっさりして、木曾中学校のほうは装飾が細かいなというふうに、これは全国的にも例が少ないクルミ形ということで、植物に縄文人が密接に関わっていたという証拠だと伺っているものです。

会 長 ありがとうございます。

そのほかに何か御質問、コメントはございますか。

事務局 資料2の2ページ目の9番、講座のタイトルが最後、「貴い」に「善」という字で「貴善会」になっていますが、「責任」の「責」という字です。「責善会」、誤植ですので御訂正いただければと思います。

会 長 そのほかに何かございますか。今の普及・活用事業に関してでも結構ですが、特によろしいでしょうか。

そうしましたら、報告事項につきましては以上にしたいと思います。

では、続きまして次第の4番目になりますが、今期の審議会の取り組み予定につきまして事務局から説明をお願いしたいと思います。

■ 7. 今期（2023年6月1日から2025年5月31日まで）の審議会の取り組み予定

事務局 今期は2023年6月1日から2025年5月31日までの2年間ですが、会議は年4回、2年間で合計8回程度の実施を予定しております。主に審議をしていただく内容についてですが、前期である第31期には市の指定・登録基準に旧跡を加えたことをきっかけに、旧跡の審議をしていただきました。具体的には、委員の皆様から御意見を

いただきながら作成した32件の候補リストを元に2022年8月の会議から審議をしていただきまして、最終的には本年6月に凌霜館跡が新たに市指定旧跡となりました。

よって、旧跡の指定、登録についてはひとまず区切りとさせていただくのはいかがかなと考えております。

そして、次に審議していただく内容ですが、市内の石造物を悉皆調査した成果として、2019年に「町田市石造物」、こちらの冊子になりますが、こちらを刊行させていただいております。こちらの調査には浜田会長にも御指導をいただいて刊行させていただいたものになります。

そこで、この成果を元に石造物の指定、登録を審議していただくのはいかがかなということを事務局から提案させていただきます。もちろん、このほかに何か委員の皆様からこれが候補というのを御提案いただければ、そちらも審議させていただこうと考えております。

説明は以上でございます。

会 長 ありがとうございます。ただいま、これから審議する内容について事務局から御提案をいただいたわけで、これまで旧跡について候補を32件挙げてもらって、最終的に2、3件残ったわけですが、やはり指定となると相手方があることですので全てがオーケーになるというわけでもなくて、最終的に1件のみの指定という形になったわけですが、次は、旧跡は多分、これ以上、これまでの審議の進め方ですと厳しいのかなということもありまして、次の指定候補を選定しようかという御提案だったかと思えます。

ただいま石造物がどうかという御提案をいただきまして、私、今個人の意見ですが、町田市内ですと天狗形の道祖神という珍しいものが3基あります。実はそれがどういうものかはっきり確認ができていないですが、もし可能であれば、もうちょっと古文書等を調べた上で、その特異性を確認できたらいいかなと思います。古くは1975年に発行された「日本石仏事典」でも取り上げられていて、その頃からこの近隣でも非常に珍しい道祖神だというふうに注目がされておりますので、そういった意味では、登録の価値はもしかしたらあるのかなと思っております。

それから、あともう一つ、個人的に思っているのは、町田というのは、やはり絹の道があります。相原には蚕種石なんていうものもありまして、今回の報告資料で

も掲載しておりますが、これは八王子市とも関係してきますが、そういった意味で、絹の道を強調しながら、蚕種石も、指定になるか登録になるかは分かりませんが、候補に挙げてもいいかなというふうには、個人的に考えているところがあります。

もし皆さんのほうでそのほかにも、石造物以外でもこんなものが候補としてあるのではないかとということがあれば、ぜひ御提案をいただいて今期審議していきたいと思っております。前回までですと、あとは近代化遺産に関係するもの、それも候補リストをつくっていただきました。それも候補として考えるというのも一つの方法かなと思いますけれども、この辺はまた各委員から御意見をいただければと思っております。どうでしょう、もしほかの委員から御意見があれば、ぜひお願いしたいと思っております。

委員 今の会長のお話につけ加える話ではないですが、たまたまなのですが、今ちょうど非常勤で行っております大学の受講生の中に町田に住んでいる学生がおりまして、彼が卒論で扱いたいと言っているのが今の天狗道祖神です。確かにデータが非常に少ない。前期に発表させたときも、ちょっとまだまだ内容が薄く、この夏に、できるだけ御近所を回って、これに関する聞き書きを集めなさいと、どういうふうに認識されているのか、様々できる範囲のことをしてくださいと指示を出してありますので、そこで得られた情報が、場合によっては少しフィードバックできるかなという気もしております。私も拝見する限り、ここに翼がついているなど、双体道祖神ではない単体の道祖神ですが、形式的にもおもしろいなと思っておりましたので、今、浜田先生からそのお話が出て、これは指定なり登録なり考えてもいいのかなと、改めて思った次第です。

ちょっとつけ加えというか、そんな情報があるよということで御提供させていただきました。

会長 そのほか、委員の皆さんから、もし何か御意見、あるいは候補等があればぜひ御提案いただきたいと思いますと思いますが、いかがでしょうか。

特に御意見はございませんか。せっかくの会議なので、1人一言ぐらい何か発言していただければと思っておりますけれども、まず、阿諏訪委員、次の期の議事としてどんなことが考えられるか、もし何かアイデアがあればお願いしたいと思います。

委員 今の天狗道祖神のお話はおもしろいなと思って、きっとそれは修験道とかの関

わりがあるのだと思います。そうすると、町田の信仰を集めるような、何かの関わりが出てくるのかどうか興味深いなと思いました。

会 長 ありがとうございます。

内野委員は自然系のほうを担当していただいておりますが、何かさらに自然系ではこんなものがあるのではないかという御意見はどうですか。

委 員 幾つかありますが、例の桜ですね、タマノホシザクラというのが今、東京都の絶滅危惧種になっていますけれども、その発祥は町田市内です。小山の片所というところがありますけれども、そこが一番の分布の外れに当たっていて、一番の自生地らしいのです。多摩ニュータウン区域にもありますが、そちらに行きますと本来の生えていた木を動かしちゃっているものが多くてはっきりしなくなってしまうのですけれども、片所は間違いなくそこがタマノホシザクラの群生地です。随分ここ数年でまた住宅開発で狭まってしまっているのですが、地元の町会さんが保護しているような、市の土地になっていきますかね、緑地になっていて、その中に何本あるのですかね。最近行っていないので分からないですけれども、少なくとも10数本はあると思います。単体で指定するのではなくてタマノホシザクラ群生地みたいな形で指定していただくと、ホタルもそこには生息しています湧水もありますし、そういうのを含めてタマノホシザクラの自生地ということで、結局、東京都だけにしか自生していませんので、日本で唯一の貴重な桜になりますので、そのあたりが一番自然的には大事なかなと思っています。

あと、ほかにも町田の名木百選にかつて指定された樹木で、三輪の熊野神社でしたか、そこら辺のカシの木もすごく大事なものだと思うのですが、そういうのも選ぼうとすれば選べないことはないのかなと思っています。

あと、妙福寺の境内の外れに当たりますが、ヤドリギというのは聞いたことはございますかね、桜とかケヤキの木にこんもりとまり状に、寄生植物ですが、それが妙福寺の裏のソメイヨシノを植えたものに、列植されたところの上に20個体ぐらい、ぼんぼりのようにくっついているのがあって、それも多分、東京都で滅多にないですね、あれだけの群生しているヤドリギというのは。住職さんに、これは天然記念物にしませんかと言ったら、遠慮しておきますとおっしゃっていましたが、それぐらいに値するものだと思うので、どこかで何か調査していただけないのかもしれないです。

ただ、元のついでにソメイヨシノが、寿命がそんなに長くないものですから、そういう意味では、ちょっと指定が難しい面もあるのかもしれないです。ケヤキなんかであれば、もうちょっと寿命が長くなるのかもしれないですけども。

あとは、今朝、ラジオで言っていたのですが、戦争体験者がどんどん亡くなる中で、被災樹木という考え方があって、明治大学の先生が書籍にまとめたらしいのですが、要は、空襲で焼けた木が結構都区内にはまだたくさん残っていて、だけれども、それがほとんど文化財として指定されないのでもどんどんなくなっている状態があって、それを拾い集めて、その先生が書物にまとめたらしいのです。多摩地区では、多分少なくなっちゃうと思いますが、町田市内でもそういうものはあるのかなのか、そういうところも一つ、文化財の目のつけどころになるのかなと思って、気にしていただけたらと思います。

会 長 ありがとうございます。いろいろ御提案いただいて助かるところです。何か戦争関連で情報はありますか。

事務局 木は聞いたことがないですけども、お寺の土蔵に焼夷弾の跡がまだ残っているとかはあったりします。

委 員 八王子は空襲がすごかったですから、いっぱい残っていますよね。

会 長 分かりました。あとはタマノホシザクラですね。多摩市とか八王子市でも分布はありますけれども、その本家が町田だということですので、これは一考に値する対象物かなと思いました。

事務局 これは市の用地、緑地ということでしょうか。

委 員 多分、公園関係だと思いますけれども、それプラス、もともとのお寺さんの土地が若干かぶっているのかもしれないです。

事務局 お寺の名称は。

委 員 何か変わっちゃったのですよね。調べてまたお伝えします。

会 長 どうぞ、鶴巻委員、お願いします。

委 員 候補に挙げられるのかどうかよく分からないのですが、玉川学園にニラハウスという藤森照信さんが設計した赤瀬川原平邸がありますよね。あれは文学館とのいろんな共同作業を経て何らかの指定が可能なのかどうか。かなり新しいことがまずありますけれども、赤瀬川家は、今あそこを日常的な住宅としては使っていないと思います。ニラハウス自体の形態も崩れてしまっているわけですが、藤森さんのかな

り初期の作品ですし、芥川賞の受賞者でもありますし、かなり早い時期の保存なり、利用、活用なりということがないと壊されてしまう可能性があるのではないかなというのが、かなり気になっています。

だから、どこかこの中の候補に1つ入れておいていただけると、将来検討の課題になるのではないかと思います。

委員 私は何回か前を通過して、見に行ったりしていましたが、もちろん、赤瀬川さんが御存命のときにも駅の近くでよくお会いしたりとかいうこともありました。でも、今は確かに全く使われていないはずですが。気にはなっていました。文化財としてという目線は、私は全然持っていなかったものですから、今日はいらっしゃらないですが、大野先生の御意見を伺いながら、初期の作品というか、屋根に植物を生やすような奇想天外な発想からできているおうちですけれども、建築の世界の中の方に言わせると、藤森さんについてはいろんな評価が僕は耳に入ってきていたものですから、どうなのかなとかいう思いも実はあったりしました。ただ、赤瀬川さんのこともありますので、ぜひ1度、大野先生に見ていただくとかいうのも必要なのかなと思った次第です。

会長 ありがとうございます。この赤瀬川家の住宅については、何か事務局のほうで情報とかをお持ちではないですか。

事務局 新しい家なので、基本的に国の登録建築でも築50年以上経過したものというのがありますので、事務局としてはマークしていなかったところ。御指摘ありがとうございます。

建築の分野は、実はなかなか難しいところがございまして、今、昭和初期に指定された建築物が傷んで修繕が必要となるサイクルですが、修繕費に対して市の財政的な支援が非常に難しい状況です。一方で、修繕のやり方は指定当時のまを踏襲しなければならないという制約がある。例えば、修繕費を抑えるためにもう少し安い工法、材質でしたくても、1度指定されてしまうと、指定された状態にしてくださいと言わざるを得ない。今回も妙福寺などは予算をつけてもらえましたが、指定となると、支援が十分にできなくても私権を制約することも起こりえる、その辺の兼ね合いがちょっと難しいことになるかなと考えております。

会長 ありがとうございます。また大野委員からも御意見をお伺いしてみたいかなと思います。

須田委員、今日、初めての御出席なのでなかなか意見を求めるのは難しいかなと思いますけれども、もし何かございましたらお願いしたいと思います。

委員 私は三浦半島のほうでも、例えば三浦市、葉山町の委員も務めさせていただいておまして、それからあと、もともと前職は神奈川県三浦市の教育委員会で埋蔵文化財を中心に学芸員をやっておりました。どちらかというところ向こう側の立場に長くおりましたので、その辺も自分なりに生かしていきたいと考えております。

後で教えていただきたいのですけれども、考古資料の指定について、町田市内の指定されているもののリストがもしあったら教えてください。

事務局 ホームページにも公開しておりますので、どういうものか後で紹介させていただきます。

委員 参考にさせていただければと思います。よろしくどうぞお願いいたします。

会長 ありがとうございます。

委員 あと、清水寺境内のジェンナー碑の隣に近藤先生碑がありますよね。あの近藤先生碑が話題に上らないですが、指定の候補にも挙がらないのは何か理由があるのですか。

事務局 前にジェンナー碑を登録審議していただいたことがあったかと思うのですけれども、そのときのリストと一緒に挙げたかと思います。

委員 どうでしたかね。これは表に入っていないですね。ぜひ入れておいてほしいなと。

委員 隣に近藤先生碑があつて、気になっているのは、部分的に崩落しかけています。ジェンナー碑はきれいですが、近藤先生碑はきちんとした処置をしないと表面が崩落していくのではないかということがあつて、新選組や天然理心流関係の史跡としては結構注目していると思うんですよね。多摩、それから相州側の門人たちが連携してお金を出し合つて作っているわけで、その意味では、天然理心流の広がりもありますし、3代目の周助が建てているし、青木も関係しているし、結構史跡的に高い内容を持っているのではと思うので、一応候補には挙げておいてほしい。

会長 分かりました。資料を確認しておきたいと思います。

そのほかに何か皆さんから御意見等はございますか。

委員 本当に知らないのですが伺うだけですけれども、さっき建物のお話が出たので思い出したんですけれども、無窮会の専門図書館というのは、あれはもっと新しいんで

すか。

事務局 今、取壊しをしています。

委 員 もうやめてしまったのですか。

事務局 もう図書館としてはやめているのですが、建物のほうを壊しています。

委 員 すみません、知りませんでした。

事務局 もう分譲地にするということで。

委 員 では、あの中の本はどこかにある……。

事務局 そうだと思います。資料がどこに移ったのかはちょっと把握していないですが。

委 員 すみません、それは知りませんでした。ありがとうございます。

会 長 でも、やっぱり知らないうちに散逸してしまっているものもきっとあると思いますので、チェックしないといけないですね。ありがとうございました。

そのほか、何かございますか。

では、様々御提案いただきまして助かりました。今期の候補としてそれぞれ考えていきたいと思えます。

4番目の今期審議会の取り組み予定については以上で終了したいと思います。

続きまして、最後、その他になりますが、事務局から説明があればお願いいたします。

■ 8. その他

(1) 次回の審議会について（10月上旬開催予定）

事務局 次回の審議会についてです。こちらの次第には11月中旬開催予定と記載しておりますが、実は今の教育プランが2019年度から2023年度のものでして、新しい教育プランを今作成している最中です。こちらの次期教育プランに対する御意見を頂戴いたしたく、その関係上、申し訳ないですが、少し早めて10月の下旬頃、開催したいと考えております。なので、この会議が終わってすぐに次回の会議の日程調整をメールでさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

会 長 ありがとうございます。では、次回の会議はまた2か月後ということになりそうですので、調整をよろしくお願ひしたいと思えます。

以上で本日予定していた議題は終了となりますが、全体を通しまして、皆さん、あるいは事務局からもし何かあればお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、須田委員、これからどうぞよろしく申し上げます。

委員 こちらこそ、よろしくお願ひいたします。

会長 それでは、本日の審議会をこれで閉会といたします。どうもお疲れさまでした。